

令和 8 年度 松江駅周辺地域暴走族根絶対策推進会議 議事録

1 開催日時

令和 8 年 7 月 14 日（火）14 時～14 時 40 分

2 開催場所

朝日公民館 集会室 1

3 出席者

(1)松江駅周辺地域暴走族根絶対策推進委員

朝日公民館	高尾 康弘
白潟公民館	松本 道博
朝日地区交通安全対策協議会	松浦 明宏
朝日地区町内会自治会連合会	安原 眞之
白潟地区町内会連合会	西村 佳夫
伊勢宮町町内会	長田 人志
昭和町町内会	安田 明正（代理）
松江市立第三中学校	松本 道博
松江警察署松江駅前交番	恩田 秀和
松江市交通安全対策会議	竹谷 可臣
松江警察署交通捜査課	成瀬 貞善

(2)事務局

松江市総務部総務課長	中岡 宏樹
松江市総務部総務課総務係 交通防犯リーダー	秋田 直樹
松江市総務部総務課総務係	樋口 朝香

4 会議次第・議事録

(1)推進委員の委嘱

議長に朝日公民館長 高尾委員、副議長に白潟公民館長 松本委員を選出。

(2)議題

- ア 暴走族根絶対策推進の過程について（松江市総務課 秋田交通防犯リーダー）
- 対策推進会議の過程については、資料 8 ページに記載のとおり。また、「暴走族等について」という資料を資料 10 ページに載せている。内閣府等のホームページからの引用により作成したもの。

イ 最近の暴走族の情勢（松江警察署交通捜査課 成瀬課長）

1) 交通事故の情勢について

6月末現在における交通事故発生状況については、発生件数・負傷者数ともに若干減少しているが、死者数については9名と、前年と同数となっている。

過去5年間で見ると、交通事故の発生件数は減少傾向であり、昨年は、現在の統計方法となった昭和41年以降で最少の688件。その一方、交通事故死者数については、昨年は17人（前年比+8人）と大幅な増加に転じた。また、重傷事故は、その延長線上には死亡事故があり、死者数と重傷者数の合計で見ると、近年は横ばいで推移している。これは松江署管内においても同様の傾向。

このような情勢から、現在、島根県警察では、重点目標に「死亡事故と重傷事故の抑止」を掲げ、特に死亡事故原因の大部分を占める「運転中の前方注視の徹底」「歩行者保護の徹底」のための対策を推進している。松江署においても、交通事故の発生実態を踏まえた交通指導取締りのほか、交通安全講習や広報・啓発活動などを広く展開しているところ。

2) 暴走族の情勢について

現在、島根県下で暴走集団として把握把握している団体はない。しかし、松江署管内では、単独の爆音走行が散見されている。また、原付バイクの2人乗りやヘルメットを着用せずに走行するバイク、蛇行運転するバイクなどの目撃通報もあり、警察としても検挙に努め、上記のような違反に加え、着色フィルムなどの整備不良車両についても検挙している。

近年はSNSの利用により、見知らぬ者同士が集団となり暴走を敢行する状況があり、継続的な対策が必要であると感じている。

ウ 今後の対策について（松江市交通安全対策会議 竹谷参事）

松江市内の情勢については、組織的な暴走族や旧車會は把握されておらず、単発的な爆音走行が散見されるに留まっているが、全国で発生しているような暴走行為が松江で敢行されないという保証はない。

これから秋にかけては、祭礼等のイベントも開催され、爆音・暴走行為が行われる危険性が高くなる時期でもある。

このような状況を踏まえ、暴走族、暴走行為に関する情報があったときや、その予兆が感じられた時には、警察に通報あるいは相談をするとともに、各機関が連携し、小さな芽のうちに対応することが何より重要と思うので、協力をお願いする。

(3)意見交換

(4)閉会